

さわやか入間の風

令和6年

10月発行

発行者 西澤 泰男



『リザーブ 多くの支え合いで多くの豊かな人生を創ろう』

会長 西澤 泰男

猛暑の続く中、パリオリンピック、パラリンピックが生々しいドラマを見せ幕は閉じられた。今私の記憶の中に、歴史の檜舞台セーヌ川を中心に繰り広げられた、世界最高峰のオリンピック達による白熱した競技、選手や観客の高揚した表情や感極まったスピーチ等が整理されないまま、まさに机上一面に散在していた。そして時折その記憶のカードを拾い上げては、例えば、柔道阿部詩選手の会場を包み込む号泣の場面等、懐かしく眺めたり浸ったりしている。

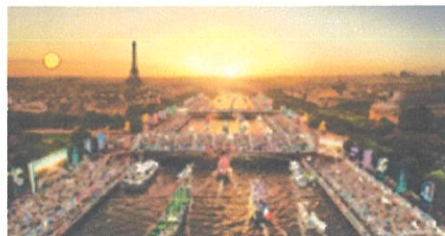


「リザーブ」、それは透き通った上品な香りを醸し出す洗練されたウイスキー(当時の若者にとっていつかは嗜みたい名品)である。或る日の投書欄に、娘から届いた小包にまつわり、リザーブに関する記事が紹介され思わず目を通した。

小包には、4年間の自分を心身ともに支えてくれた母への感謝の手紙と、その下に1枚の新調されたユニフォームが詰められていた。彼女はパリオリンピックの陸上選手であり、そのユニフォームに一度も袖を通す機会はなく、パリから帰国していた。実はリザーブという立場の選手であったから。

「リザーブ」とは陸上競技では、団体種目のメンバーが急遽けが等で出場ができなくなった時のみ出場が可能な、あくまで代替要員のことである。いざという時に備え自らの立場に徹し、日々練習に励み、自らを管理し、モチベーションを維持し続けたが、彼女は表舞台に立つことはなかった。

パリ大会が終わるまで、心が折れそうなことが何度となくあり、その都度母親の激励が、娘をしっかりと支えてきたのであろう。母への感謝と共に、4年後にはリザーブでなく選手として出場し、母へ恩返ししたいという、強い決意を示した大切な小包であったに違いない。東京大会での早田選手のように……。



振り返るに学校というチームでも、教職員以外に地域の人をはじめとする多くの人達によって学校を盛り立ててくれていた。これもリザーブの力といえよう。改めて心より感謝したい。今後リザーブを口にした時、一味違った爽やかでまろやかな感触が、体中を巡ってくれることであろう。

本紙では、今号から、多くの先生方に近況報告等をお寄せいただき、文面を通して大いに会員相互の交流と居場所づくりを進めていきたいと思っております。勿論強制ではございません。今後、原稿依頼をお願いしますがご協力いただければ幸いです。尚、いただいた原稿はそのまま掲載いたします。

『さわやか入間の風』は県の退職校長会のホームページに掲載しますのでご了承ください。

今回は、以下の先生の近況報告です。

安間 定八 先生

大変お世話になります。
現状は、週3日透析に行っています。あと、三泊四日ぐらいでショートステイへ行っています。
元気に過ごしています。まだまだ、暑い日が続きますのでご自愛ください。

清水 新吉 先生



清水先生に近況報告の件で、元気に過ごされている様子や、先生が平成12年から始められた「バードカービング(鳥の彫刻)」について会員の皆様を紹介したいと話したところ、快く返事をいただきました。早速自宅を訪問させて頂きお話をお聞きしました。

先生は「バードカービング」だけでなく、関係する書籍も出版されています。また、自宅には先生が作製された「バードカービング」がたくさん展示してあります。

現在は、少し体調を崩され、作品作りは休んでいるそうですが、体調が戻り次第作品作りに着手されるそうです。

竹田 四郎 先生

三月に姉が亡くなり、六人兄弟でしたが、この世に私ひとりになりました。
血圧測定、薬の服用、通院、読書、散歩がルーチンですが、時々忘れます。
耳遠くトイレは近く、目は見えず、口角しまりなく、というのが八十九歳を迎える私の近況です

井上 堯 先生

近況
原稿用紙着。思案・構想約5分。いつの間にか眠っていました。何も浮かんでこないのは何もしていない証しかもしれません。
趣味になりそうなものを見つけては手を出して見ましたが、望みに合うものは少しずつ溜まる駄作。思い切って全てにさよなら。
身辺整理・断捨離の始まりでした。丁度その頃、家の中で滑って怪我。以来、片付けと掃除とりハビリの毎日です。詳細はお問い合わせ下さい。

桜庭 昌吾 先生

黒須小学校長を最後に退職して早20年になろうとしています。退職して久保稲荷公民館長を5年勤めたことで、地域の方々と深くつながるようになり、地域自治会に関わるキッカケとなりました。

自治会事務局、祭典委員長、愛宕神社総代、引き続き現在は扇町屋第一区区長と入間市連合区長会の幹事、合わせて自主防災会を忙しく努めています。

12坪農園での野菜作りに癒やされながら地域活動を楽しんでいます。

退職された先生方には機会を見つけて是非自治会でお力を発揮して欲しいと願っています。

ご冥福をお祈り申し上げます

令和6年6月13日 新井 辰男先生(95歳)がご逝去されました。新井先生は本会に積極的に参加して協力的な意見をいただくなど、長い間、本会の発展のため、大所高所からご尽力いただきました。

令和6年9月6日 奥原 進先生(78歳)がご逝去されました。奥原先生は平成23年度から26年度までの4年間 副会長として本会の発展に多大なご尽力いただきました。昨年度、4年ぶりの「懇親忘年会」の幹事長として会を盛り上げていただきました。

ここに、先生方の生前のご功績に対し敬意と感謝を表し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。